2022 年 4 月～2023 年 6 月分
2023 年 6 月更新

医 療 機 器 プ ロ グ ラ ム に 関 す る F A Q

（更新）ボーンナビ BSI(V2.2.0) FAQ 2

LANC@T (V2.9.1.x) FAQ 21

(New) カーディオレポ (V1.2.0) FAQ 26

(New) 3DSRT ニューロ (V1.0.7.0) FAQ 27

(New) eZIS ニューロ (V1.1.1.0) FAQ 28

PDRファーマ株式会社

本件についてご不明な点は、担当 MR または製品情報センターまでお問い合わせください。
（電話：0120-383-624 受付時間：9:00～17:00 （土曜・日曜・祝日・当社休業日を除く））

2022 年 4 月～2023 年 6 月分
2023 年 6 月更新

ボーンナビ BSI(V2.2.0) FAQ

Q.01 V2.2.0 へバージョンアップ後に解析レポートを LANC@T の ”エクスポート機能” を使用して、フォルダ経由で処理機にインポートできなくなった。 3

Q.02 ボーンナビ BSI の解析中にマスクボタンを押下しても反応しない。 5

Q.03 前バージョン(V2.1.7)のセッションファイルが読み込めない。 6

Q.04 V2.1.7 と V2.2.0 のレポートレイアウトの変更について詳細を知りたい。 7

Q.05 レポート内の「BSI(%)」の文字が切れてしまう。 12

Q.06 ボーンナビ BSI をバージョンアップしたところ、「Bone session file load operation failed.」と表示され解析できない。 13

Q.07 ボーンナビ BSI 解析後に「An error occurred while saving SC DICOM」が発生しレポートが保存できない。 14

Q.08 レポートの患者名の DICOM ヘッダ情報が文字化けする。 18

Q.09 ３検出器ガンマカメラ GCA-9300R の骨シンチ画像は解析できますか。 20

2022 年 4 月～2023 年 6 月分

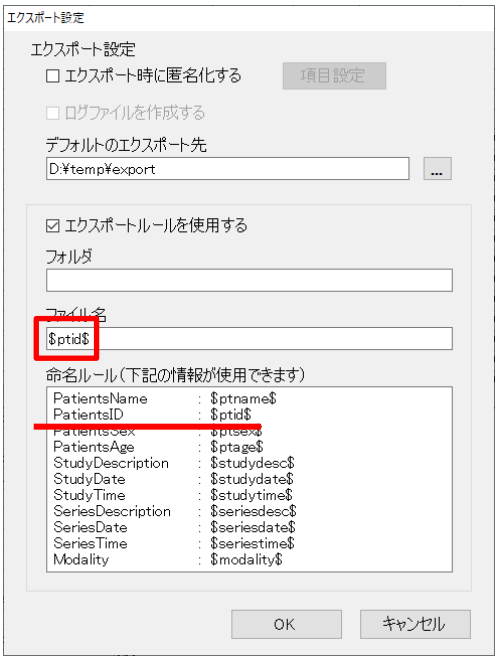
Q.01　V2.2.0 へバージョンアップ後に解析レポートを LANC@T の ”エクスポート機能” を使用して、フォルダ経由で処理機にインポートできなくなった。（更新）

A.01

DICOM データの患者名に「^」が使用されている場合(例 "MYOUJI^NAMAE")、レポートを LANC@T からエクスポートし共有フォルダ経由でインポートできない処理機があります。この現象は、「^」記号が「空白」に変換され保存フォルダ/ファイル名に「空白」が入るためです（本資料の「LANC@T FAQ」p23 と同じ現象についての説明です）。

方法１－３のいずれかで対応をお願いします。

方法１）　LANC@T のエクスポートルールを使用する場合、フォルダ名/ファイル名には **$ptid$等の空白のない情報**を使用してください。



方法２）　エクスポート時もしくはエクスポート後に、保存フォルダ名/ファイル名から空白を削除して下さい。

方法３）　共有フォルダを介さず直接送信する方法(DICOM 通信)をご検討ください。

※この現象に対応するため、空白をアンダーバー「_」に変換する機能を追加した対応版 LANC@T をご用意しております。当社担当 MR までお問い合わせください。

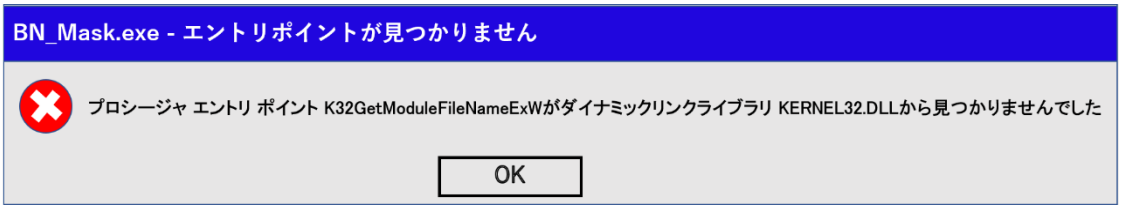
Q.02 ボーンナビ BSI の解析中にマスクボタンを押下しても反応しない。（更新）

A.02

Windows の OS と LANC@T のバージョンをそれぞれご確認ください。

- LANC@T のバージョンが V2.9.1.0 以上である必要がありますので、LANC@T のバージョンをご確認ください。

- V2.2.0 の動作保証 OS は Windws10 と 11 です。それ以下の OS で動作する場合もありますが、Windows VISTA、XP では新しいマスク処理に対応しておらず、以下のエラーメッセージが表示され動作しません。ご了承ください。



Q.03 前バージョン(V2.1.7)のセッションファイルが読み込めない。

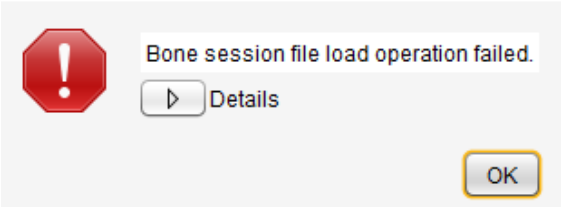
（セッションファイルとは、「解析中のコメント」、「ホットスポットのリスク(赤/青　判定)」等の情報が保存されたファイルです。）

A.03

方法１－２のいずれかで対応をお願いします。

方法１）V2.1.7 と V2.2.0 ではセッションファイルの構造が異なるため、互換性がございません。今までのセッション情報を活用する場合は V2.1.7 を引き続きご利用ください。

下図のエラーメッセージについては OK ボタンを押す事で、セッション情報がないものとして解析されます。



発生するエラーメッセージ

方法２）V2.1.7 のセッションファイルを引き続きご利用される場合はお手数ですが、過去データのレポートを参考に V2.2.0 で解析し、改めてセッションファイルを保存してください。

V2.2.0 をインストールする前に、V2.1.7 をアンインストールして頂く必要がありますが、アンインストール後に一部のフォルダ/ファイルが残ってしまいますので、以下の”BONENAVI_BSI”フォルダを削除してからインストールしてください。
(既定のインストール先：C:¥FRI¥LANC@Tprog¥BONENAVI_BSI)
なお、V2.1.7 に戻して使用する場合を考え、上記の BONENAVI_BSI フォルダ内にある” session”フォルダは、削除する前にバックアップ（コピー）頂くことをお勧め致します。

なお、本資料の p13 にも関連情報を記載しています。

Q.04 V2.1.7 と V2.2.0 のレポートレイアウトの変更について詳細を知りたい。

A.04

バージョンアップに伴い、下記の通りレポートのレイアウトを変更しております。ご了承ください。

① 全レポート共通

- 画像右下に使用しているカラーマップ名を表示しました (図 1※)。

② Summary レポート　（図 1）

- CADx レポートの名称を Summary レポートに変更しました。
- ⊿BSI を追加し、レポートテキストを画像下部に移動しました。複数解析時は、例数によりコメント欄が小さくなることがあります。また、BSI と Hsn のグラフは 1 例（検査）でも常に表示するように変更しました。

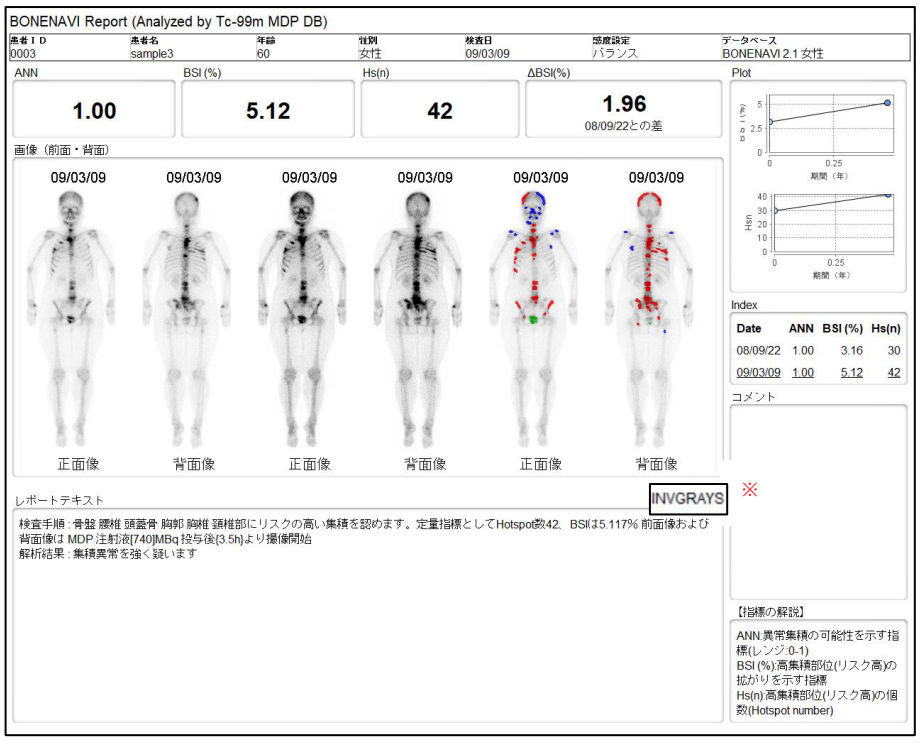


図 1

③ Images-レポート

- V2.1.7 は複数例解析時の出力レポートは正面像/背面像それぞれ 1 枚でしたが、V2.2.0 では 6 例以上の場合、画像を出来るだけ大きく表示/印刷されるようにそれぞれ 2 枚で出力されるように、仕様を変更しました。

  - ➢5 例までは、V2.1.7 と V2.2.0 で変更はありません。（図 2 ）
  - ➢6 例以上の場合、画像が小さくなってしまうため、次ページ図 3 のように 2 枚に分割しました。

（5 例の場合）　V2.1.7 と V2.2.0 で変更はありません。

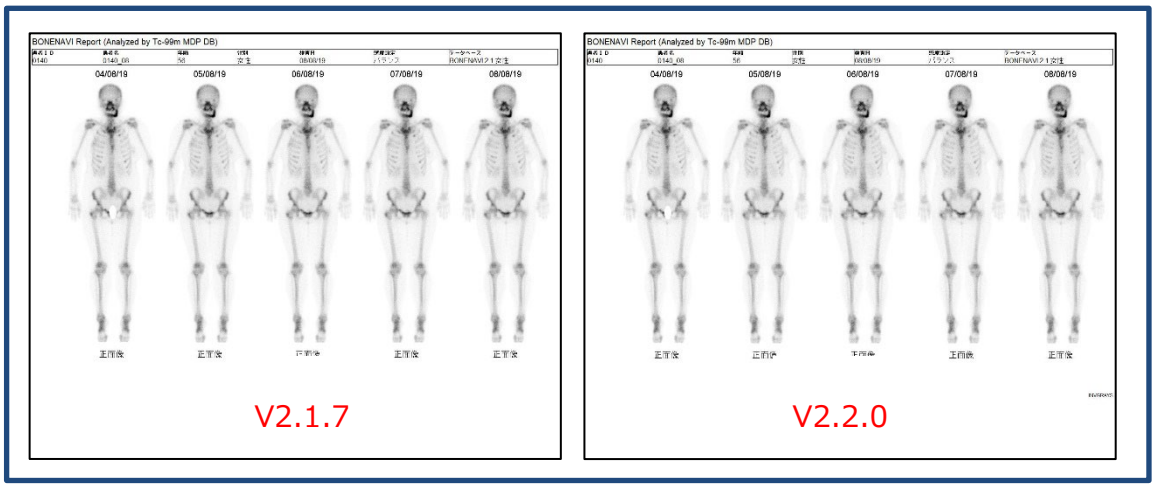


図 2　（例として正面像のみのレポート）

➢（6 例以上の場合）

全身画像を出来るだけ大きく表示する為、6 例では（1 枚目、2 枚目）が（3 画像, 3 画像）に 2 分割されます。7 例以上では 7 例 (4, 3)、8 例 (4, 4)、9 例 (5, 4)、10 例 (5, 5) となります。

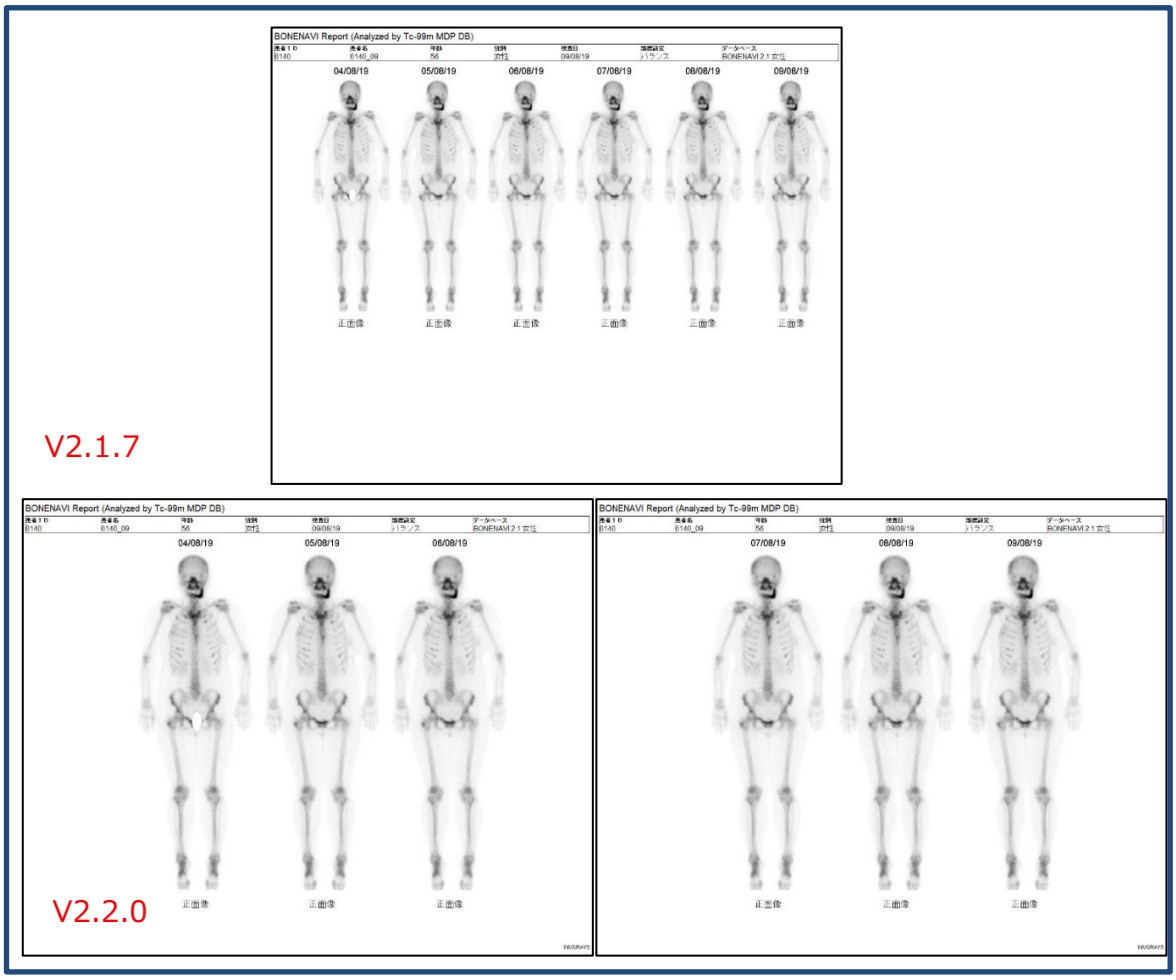


図３　（例として正面像のみのレポート）

④ Images-Info レポート

- レイヤー「第 2 スケールとホットスポット」を選択した場合（V2.2.0 で新規追加レイヤー、図４）、「第 2 スケール」のレポートと「ホットスポット」のレポートが作成されます（図 5）。

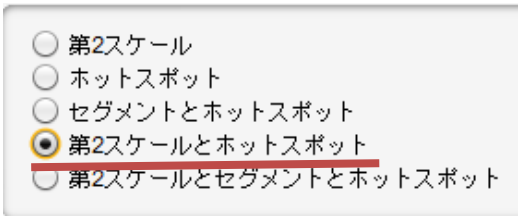
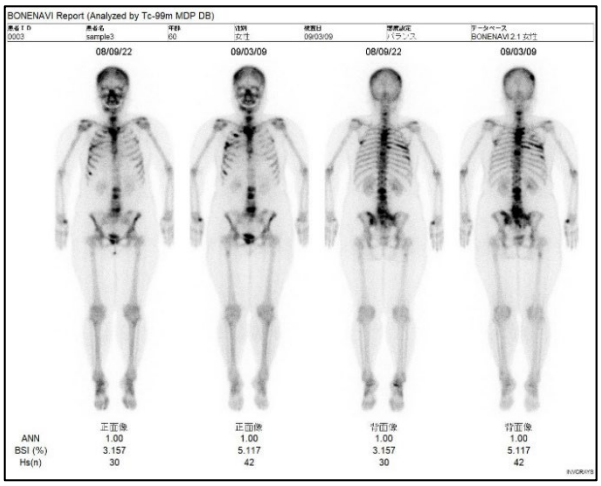
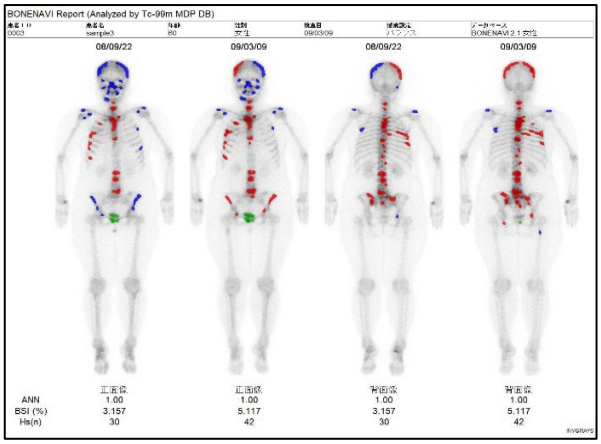


図 4

(2 例の場合)



第 2 スケール



ホットスポット

図 5

- レイヤー「第 2 スケールとセグメントとホットスポット」を選択した場合（V2.2.0 で新規追加レイヤー、図６）も同様に、「第 2 スケール」のレポートと「セグメントとホットスポット」のレポートが作成されます。

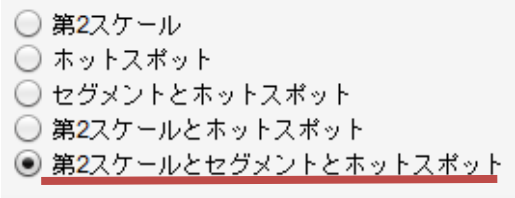
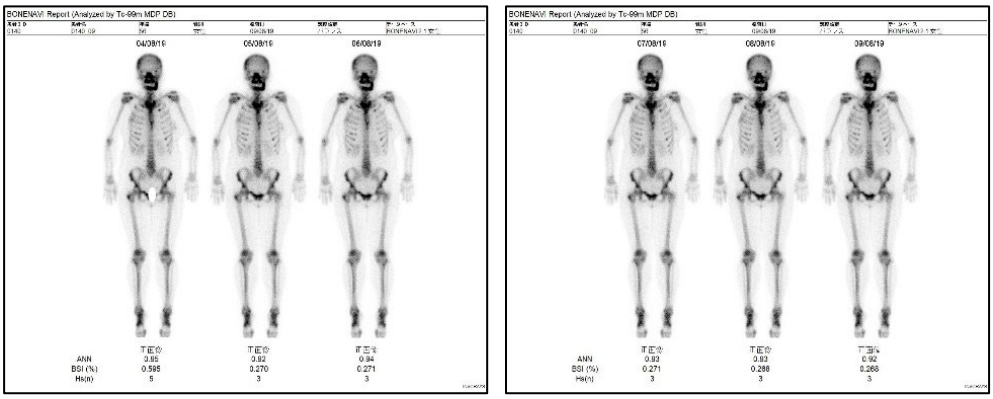


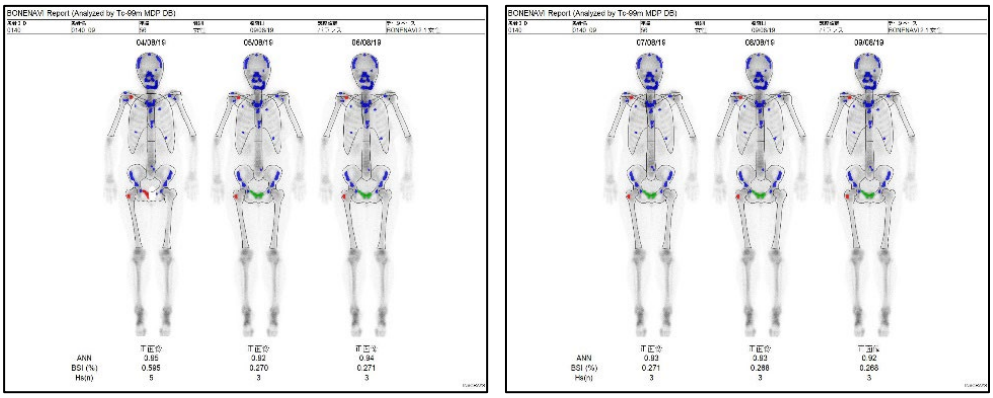
図 6

- 「Images-Info レポート」でも、6 例以上の場合、③「Images レポート」と同様に 2 枚に分割されます。6 例以上では、”第 2 スケール”で 4 枚のレポート（正面像 2 枚、背面像 2 枚）、”ホットスポット（または、セグメントとホットスポット）” で 4 枚のレポート（正面像 2 枚、背面像 2 枚）が作成されます（図 7）。

(6 例の場合:正面像の表示)



第 2 スケール



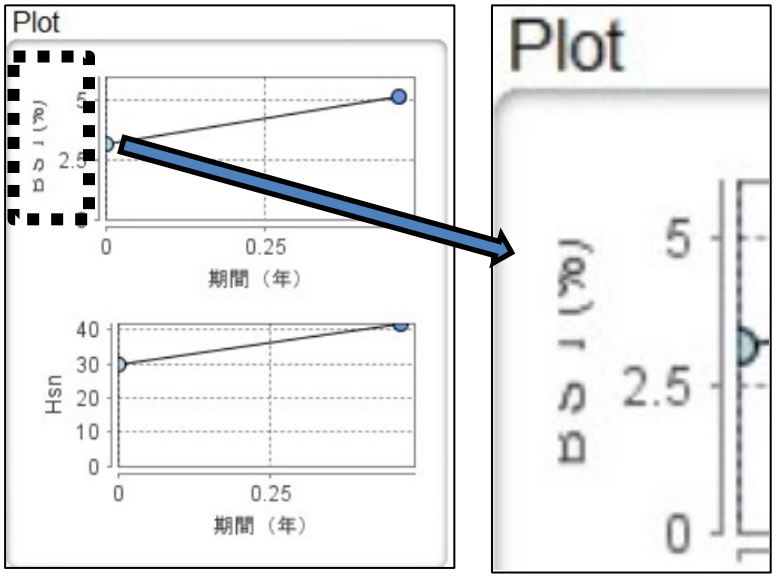
セグメントとホットスポット

図 7

Q.05 レポート内の「BSI(%)」の文字が切れてしまう。

A.05

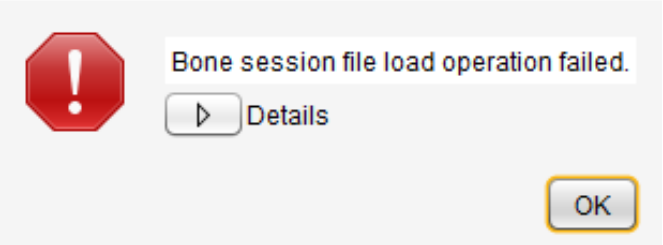
BSI のグラフについて、縦軸の値によって文字が切れてしまうケースがあります。ご迷惑をお掛けいたしますがご了承ください。



Q.06 ボーンナビ BSI をバージョンアップしたところ、「Bone session file load operation failed.」と表示され解析できない。

A.06

旧バージョンのセッションファイルがフォルダ内に残っていると本エラーが表示されます。



また、上記のエラーメッセージダイアログの OK ボタンを押して先に進んだ場合、セッション情報がないものとして解析された結果が出力されます。

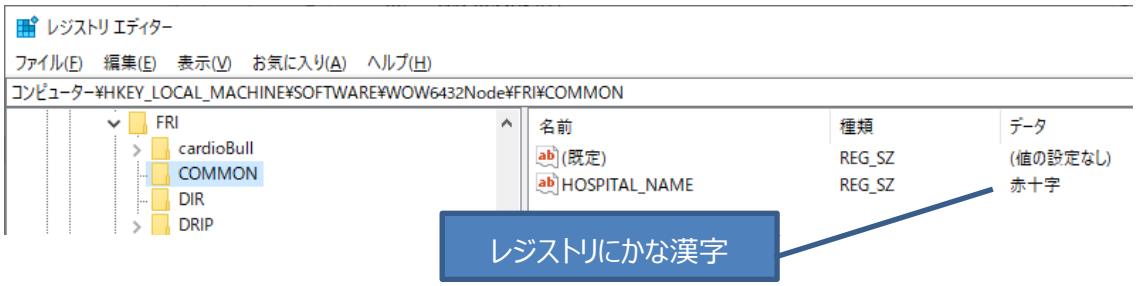
旧バージョンのセッションファイルは、新しいバージョンのプログラムでは対応していません。削除してください（本資料の p6 に関連情報を記載しています）。
(既定のインストール先：C:¥FRI¥LANC@Tprog¥BONENAVI_BSI¥session)

なお、V2.1.7 に戻して使用する場合を考え、BONENAVI_BSI フォルダ内にあるセッションフォルダは、削除する前にバックアップ（コピー）頂くことをお勧め致します。
(既定のインストール先：C:¥FRI¥LANC@Tprog¥BONENAVI_BSI)

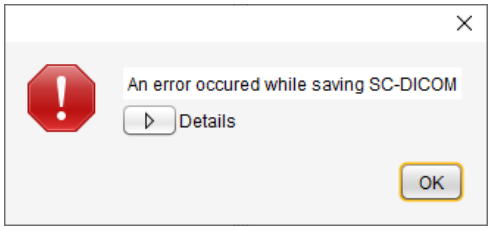
Q.07 ボーンナビ BSI 解析後に「An error occurred while saving SC DICOM」が発生しレポートが保存できない。

A.07

入力データに病院名がセットされておらず、レジストリにセットされている病院名に「かな漢字」が使用されている場合にエラーが発生します。



（※） PDR 製プログラムの病院名が保存されている場所(HOSPITAL_NAME)のレジストリ画面



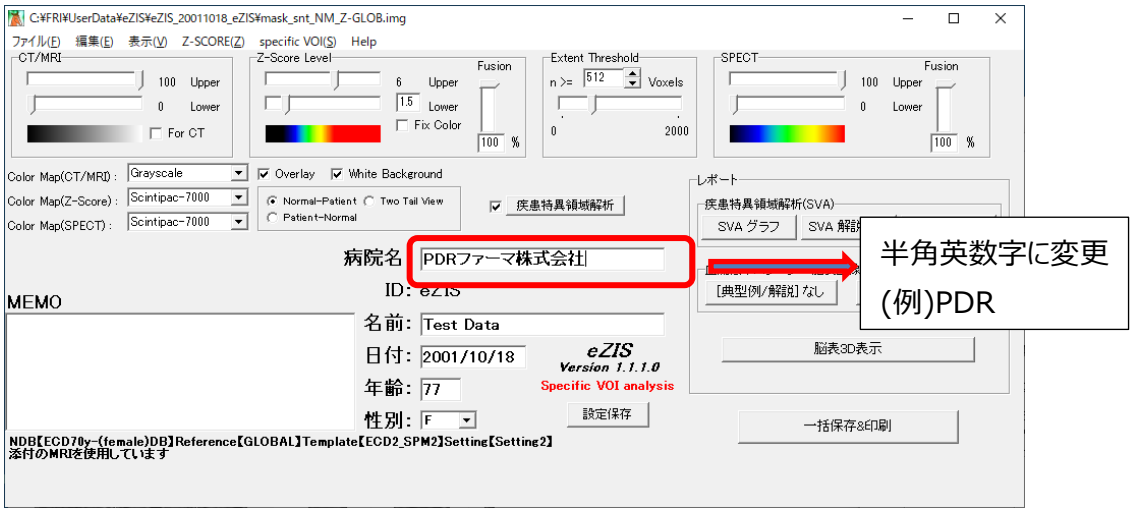
特定の文字コードでエラーが発生します。以下の漢字等で使用した場合、発生が確認されています。

例：「十」、「圭」、「申」、「貼」、「能」、「表」、「予」、「禄」

以下の方法 1 で対応可能です。
方法 1 が利用できない場合は、方法 2 のでも変更可能です。

方法 1） eZIS ニューロや smartMIBG ハート等、他の PDR 製認証プログラム上で病院名を半角英数字に変更してください（下図の赤枠内を半角英数字に変更し設定保存してください）。

eZIS ニューロのビューワ画面



smartMIBG ハートの設定画面

※1 当社のプログラムでは、この病院名の設定内容を共通で使用しています。変更した内容は、他のプログラムでも反映されますので、ご注意ください。

※2 また、病院名を設定・変更できるプログラムには、脳画像解析「eZIS ニューロ、3DSRT ニューロ、Amygo ニューロ」、心臓解析「smartMIBG ハート」があります。

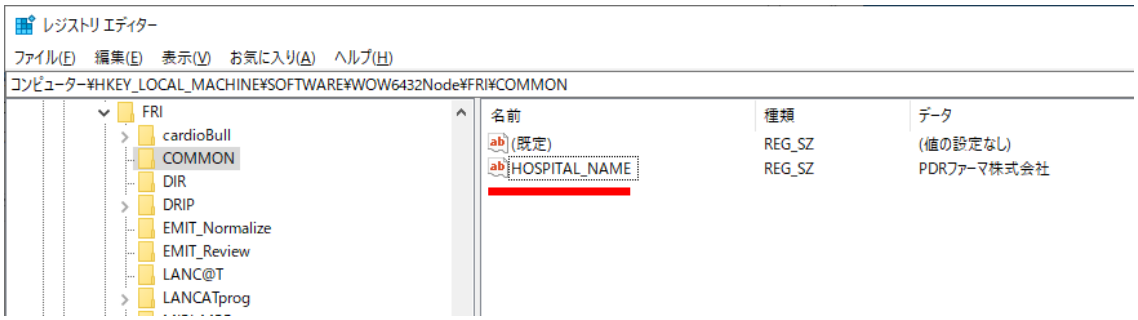
方法２）　レジストリエディタで病院名を半角英数字に変更してください。

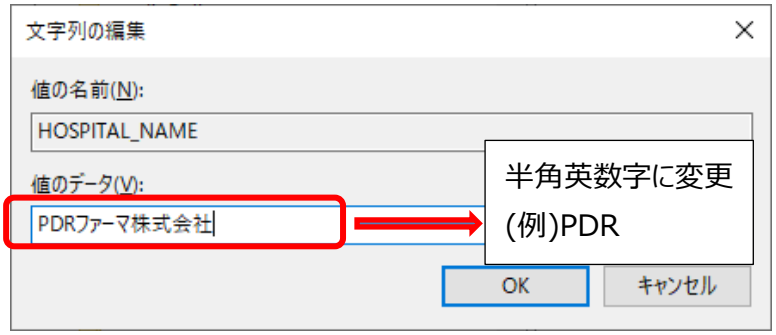
C:¥Windows¥regedit.exe をダブルクリックしてレジストリエディタを起動します。

（64bit PC の場合）
HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥WOW6432Node¥FRI¥COMMON を
（32bit PC の場合）
HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥¥FRI¥COMMON フォルダを開きます。

HOSPITAL_NAME の項目をダブルクリックし、値のデータを半角英数字に変更し OK ボタンを押して下さい。

ご不明な場合は当社担当 MR までお問い合わせください。





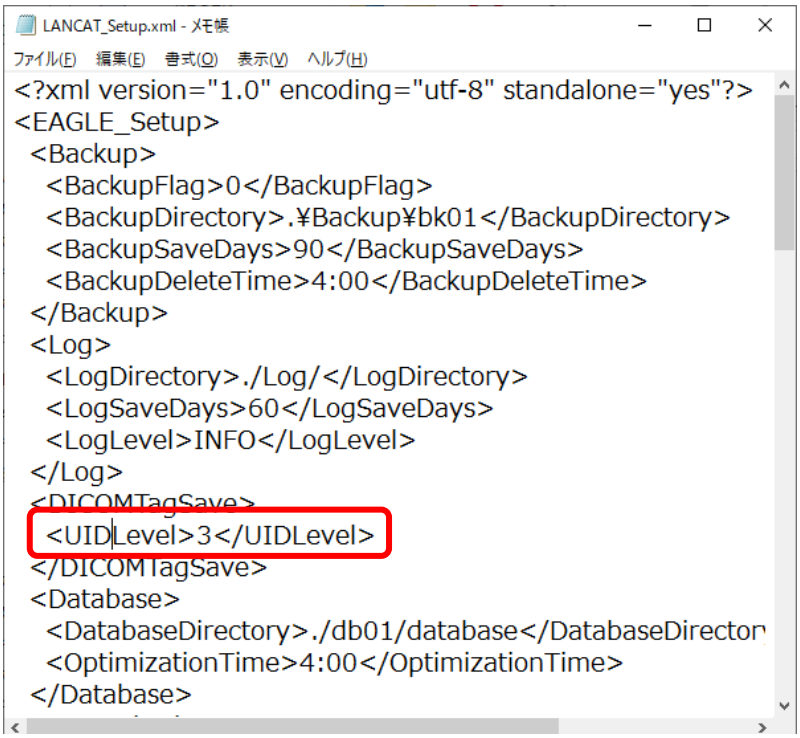
Q.08 レポートの患者名の DICOM ヘッダ情報が文字化けする。

A.08

患者名に「かな漢字」が入っている為に文字化けが起きています。
解析前に LANC@T の Edit 機能で患者名を次ページ（患者名の編集）の手順に従って文字化け部分を削除してください。
なお、初めて患者名を編集する前に、一度だけ LANC@T の設定を変更する必要があります。以下の（前処理）の手順を実施してください。

（前処理）
注意：LANC@T を終了した状態で行ってください。

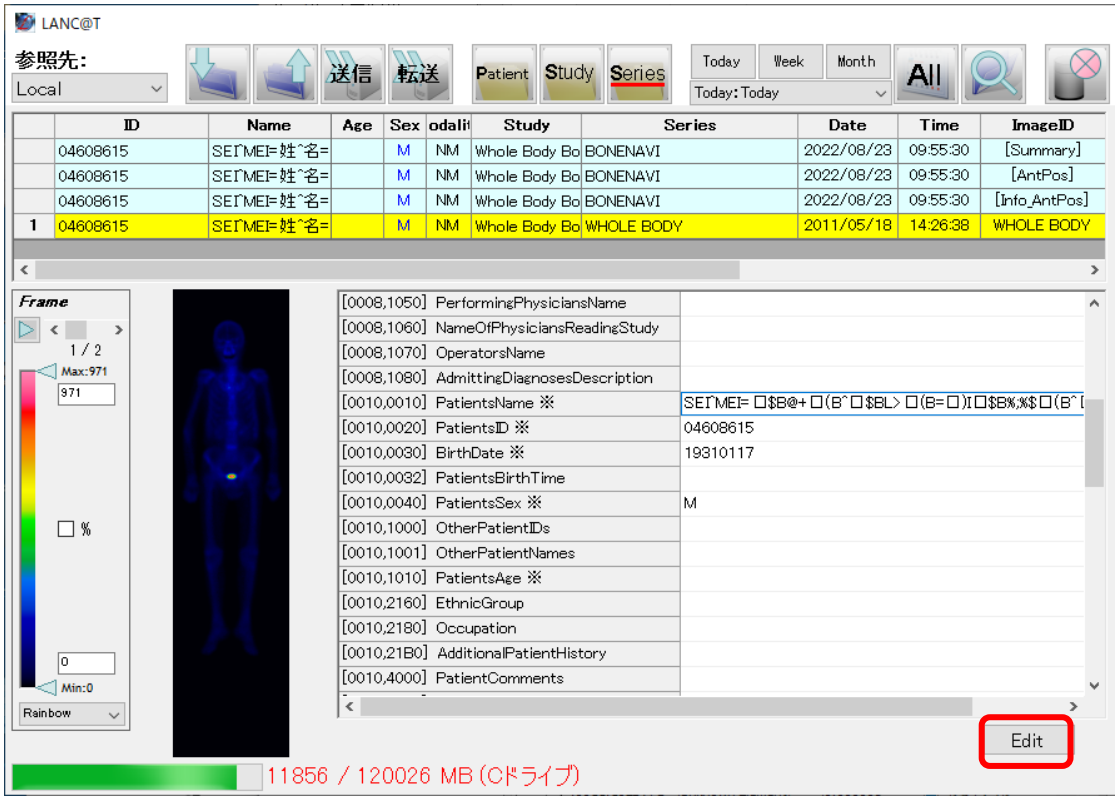
LANC@T のインストール先フォルダ（既定のインストール先：C:¥FRI¥LANC@T）を開き、LANCAT_Setup.xml をメモ帳等で開きます。
15 行目にある<UIDLevel>1</UIDLevel>の 1 を 3 に書き換え、上書き保存します。



※UID レベルを 1 から 3 に変更する事で名前を変更しても同じ UID で保存されます。

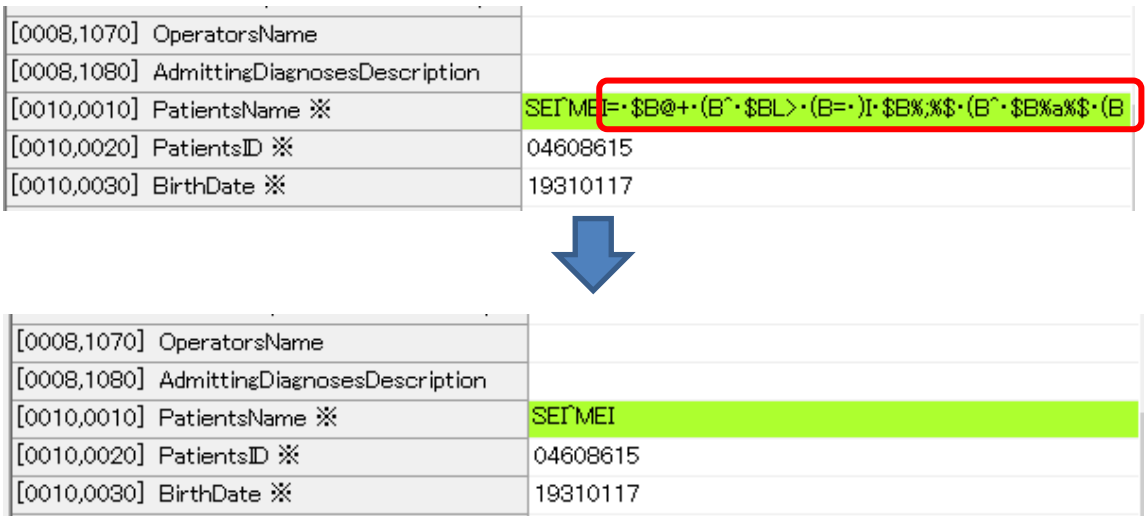
（患者名の編集）

LANC@T 上で該当データを選択し、Edit ボタンを押し下図のように、患者名の「かな漢字部分」を削除して Save してください。



※LANC@T のヘッダ情報欄は、かな漢字が文字化けして表示されません。

図：Edit 機能



図：不要部分の削除

最初の「＝」より後ろを削除して Save してください。

Q.09 ３検出器ガンマカメラ GCA-9300R の骨シンチ画像は解析できますか。

（GCA-9300R：キヤノンメディカルシステムズ（株）製の３検出器ガンマカメラ）

A.09

“GCA-9300R”から出力された画像データは、以下に記載する手順で LANC@T に取り込み、BONENAVI (V2.2.0)で解析することができます。

なお、データ収集の際は、前面像（ANT）と後面像（POST）を別々に撮像してください。

ケース１）” GCA-9300R v2.2 以降”の場合

① 標準搭載されている「検出器分離」というアプリケーションを使用してデータを出力してください。

② 上記方法で出力したデータを、 [WB_LANC@T.exe] を介して LANC@T へ取り込み、BONENAVI で解析してください（BONENAVI 取扱説明書 p12「4.1 データを取り込む」参照）。

ケース２）「検出器分離」アプリケーション未対応の場合

BONENAVI で設定を変更して頂くことで、解析が可能になります。設定に関する詳細な説明書をご用意しています。当社担当 MR までお問い合わせください。

なお、キヤノンメディカルシステムズ（株）様より、バージョンアップキットがオプションで用意され、このオプションを追加することで「検出器分離」アプリケーションに対応可能のようです。詳細はキヤノンメディカルシステムズ（株）様にお問い合わせください。

LANC@T (V2.9.1.x) FAQ

LANC@T(V2.9.1.x) には、"Microsoft .NET Framework 3" 用の V2.9.1.0 と "Microsoft .NET Framework 4"用に対応した V2.9.1.1 があります。

Q.10 ＰＤＲパッケージに付属される LANC@T v2.9.1.1, および医療機器プログラムが Windows 7 以下の PC で動作しない。 22

Q.11 V2.2.0 へバージョンアップ後に解析レポートを LANC@T の ”エクスポート機能” を使用して、フォルダ経由で処理機にインポートできなくなった。 23

Q.12 バージョンアップ後、非 DICOM データが取り込めなくなった。 25

Q.10 ＰＤＲパッケージに付属される LANC@T v2.9.1.1，および医療機器プログラムが Windows 7 以下の PC で動作しない。（更新）

A.10

最新の医療機器プログラム（「ボーンナビ BSI 2.2.0」等）及び LANC@T(V2.9.1.1)の推奨 OS は Windows10 と 11 になります。

LANC@T(V2.9.1.1)は、"Microsoft .NET Framework 4"（以下.NET4）を利用していますが、Windows10，11 では、標準で".NET 4"がインストールされ、有効化されています。ただし、この機能が有効化されていない場合等は問題が発生しますので、ご施設の PC 環境をご確認ください。なお、動作保証対象外の環境ですが、Windows7 以下の旧 OS 上で動作させる場合には、“.NET4”のインストールが必要となります。具体的な方法につきましては、Microsoft の情報 WEB ページもしくは当社担当 MR までお問い合わせください。

Microsoft の情報 WEB ページ

https://www.microsoft.com/ja-jp/download/details.aspx?id=17718

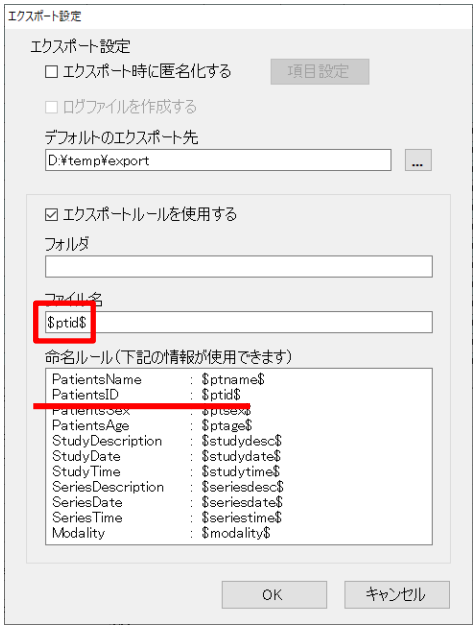
Q.11 ボーンナビ BSI V2.2.0 へバージョンアップ後に解析レポートを LANC@T の ”エクスポート機能” を使用して、フォルダ経由で処理機にインポートできなくなった。（更新）

A.11

LANC@T から DICOM データをエクスポートした際に、DICOM データの保存フォルダ/ファイル名に「空白」が含まれる場合に共有フォルダ経由でインポートできない処理機があります（本資料の「ボーンナビ BSI FAQ」 p3 と同じ現象についての説明です）。

方法１－３のいずれかで対応をお願いします。

方法１） LANC@T のエクスポートルールを使用する場合、フォルダ名/ファイル名には **$ptid$等の空白のない情報**を使用してください。



方法２）　エクスポート時もしくはエクスポート後に、保存フォルダ名/ファイル名から空白を削除して下さい。

方法３）　共有フォルダを介さず直接送信する方法(DICOM 通信)をご検討ください。

※この現象に対応するため、空白をアンダーバー「_」に変換する機能を追加した対応版 LANC@T をご用意しております。当社担当 MR までお問い合わせください。

Q.12 バージョンアップ後、非 DICOM データが取り込めなくなった。

A.12

本現象は、LANC@T (V 2.9.1.0 及び V2.9.1.1)において、DICOM 形式とは異なる 非 DICOM (non-DICOM) の一部形式※のデータを取り込めないという問題です。以下のようなエラーメッセージが表示され、LANC@T に取り込むことができません。

DICOM 形式のデータをご利用の施設では、この現象は発生しません。

なお、LANC@T (V 2.9.1.0 及び V2.9.1.1)に含まれている、非 DICOM データの入出力を行うプログラム(FileIO.dll)が原因と判明しており、この問題に対応した修正プログラムを用意しております。問題が発生する場合は、当社担当 MR までお問い合わせください。

※本現象が発生する核医学画像処理機についての情報は、担当 MR までお問い合わせください。

2023 年 6 月分

カーディオレポ（V1.2.0) FAQ

Q13　入力データの短軸像でスライス枚数が、Rest と Stress で異なる場合に、cardioMUSk 機能※でフィルター処理を行うと「不正な浮動小数点演算命令」のエラーが発生する場合がある。

A13. Rest 画像のフィルター処理における、メモリへの不正なアクセス等のバグです。

«注意»

- Rest と Stress の枚数が異なっていても、上記エラーが発生しない場合がありますが、内部的な処理が完了せず問題が発生する場合があります。
- cardioMUSk 機能を使用していない場合、問題は発生しません。
- スライス枚数が Rest と Stress で同じ場合、cardioMUSk 機能は、正しく処理されます。
- 処理機のワークフロー内で cardioMUSk の処理を行った場合、問題は発生しません。

以下のいずれかの方法で対応が可能です。

方法 1）処理機で再構成する際にスライス枚数が Rest と Stress で同じになるように再処理してください。

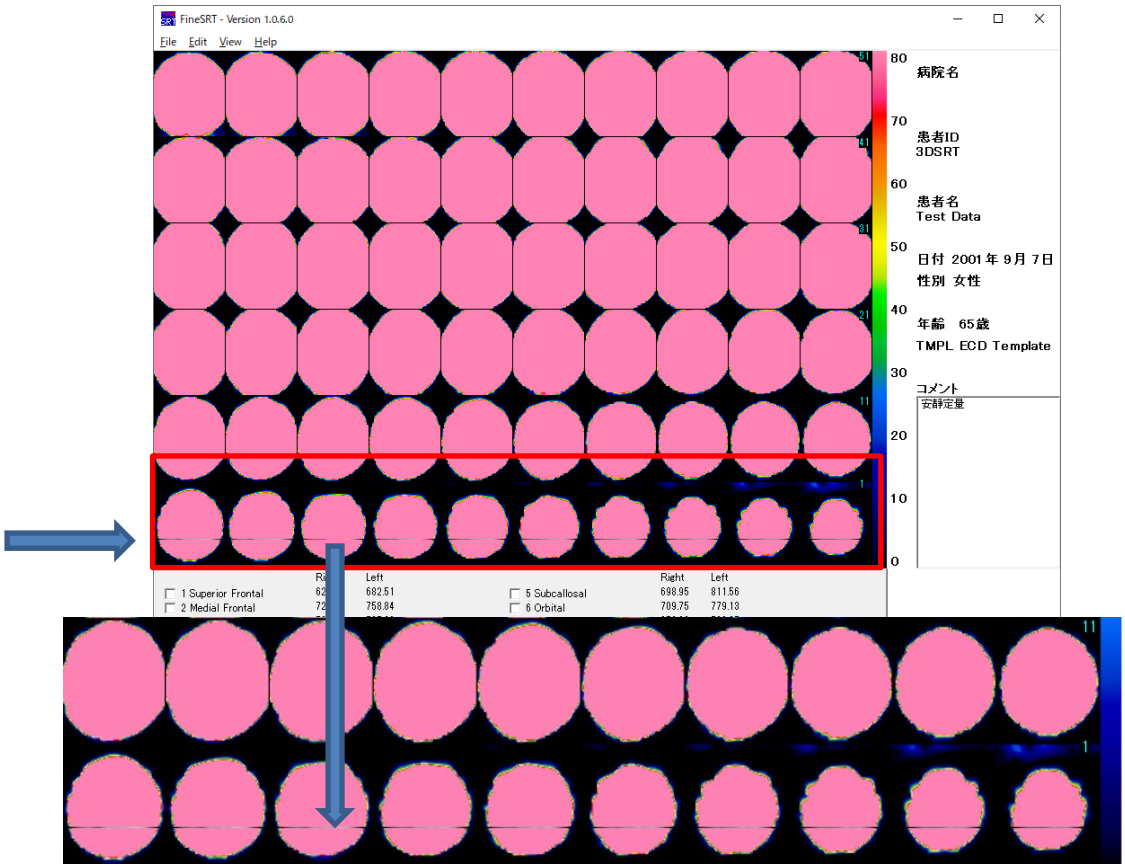
方法 2）PDR 製汎用画像処理プログラム DRIP 等を使用して、対象データのスライス枚数を調整してください。

DRIP のプログラムは日本放射線技術学会の HP からダウンロードできます。
（http://nm.jsrt.or.jp/blog.html）
使用法については当社担当 MR にお問い合わせください。

※「cardioMUSk 機能」とは、画像上の心外集積を除去する等の目的で実施する、マスク処理、平滑化処理のことです。

3DSRT ニューロ（V1.0.6）FAQ

Q14　FineSRT の結果画面にスジ状の線が表示されることがある。（下図参照）



A14　V1.0.6 の不具合になります。最新の V1.0.7 で対応済みですのでバージョンアップをお願い致します。当社担当 MR までお問い合わせください。

2023 年 6 月分

eZIS ニューロ (V1.1.1) FAQ

Q15 eZIS ニューロ（v1.1.1.0）においてレポートを印刷すると一部画像が消えて印刷される事がある。（PC 上では正常に表示されている。印刷時のみの現象）

A15 レポートを直接印刷する時の不具合です。JPEG 等で保存したレポートを印刷することで、対応可能です。
現象が発生した際には、当社担当 MR までお問い合わせください。